

令和2年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時
場所
参加者数
市側出席者

令和2年10月27日(火)午後6時30分～9時15分

東山支所

24人

市長

北 猛俊

副市長

石井 隆

教育長

近内 栄一

総務部長

稲葉 武則

市民生活部長

山下 俊明

保健福祉部長

柿本 敦史

経済部長

川上 勝義

建設水道部長

小野 豊

教育部長

亀渕 雅彦

企画振興課長

関澤 博行

【市長 開会のあいさつ】

みなさんこんばんは。日を追うごとに寒さが厳しくなっていて、いよいよ冬が来る時期であります。そうした中、この地区の基幹産業が農業ということで、次年度に向けての準備も始まっていると思っております。お疲れのところ夜分にもかかわらず、このように大勢の皆さんが地域懇談会にご出席いただきましたこと心からお礼を申し上げます。

今回の地域懇談会の情報提供については富良野市第6次総合計画基本構想原案についてのご説明をさせていただき、その後意見交換をさせていただきたいと思っております。令和3年から新しい総合計画が始まります。総合計画作成中ということで基本構想の原案がまとまりましたのでその原案を説明させていただきます。この後、細かな実施計画に入っていきますが、今日の地域懇談会の中でも地域の課題も含めてご意見を頂きまして、可能な範囲で皆さんのご意見をこの総合計画の中に盛り込んでいきたいと思っております。今回の総合計画の策定の方法ですが、今までは行政が主体で計画を作成させていただき市民の参加を求めるという形でありました。今回は少し形を変えさせていただいて市民の皆さんが参加しやすく関心を持っていただける計画にしていきたいということで、早くから市民の皆さんにワークショップを開催させていただき、そのワークショップの運営もふらのデザインさんをお願いして市民の中にあるいろいろな思いを引き出させていただき、それを取りまとめたということで総合計画の作成を委託させていただいているところです。この関係についてはこの後まだ機会があるごとに市民の方々からご意見を頂くことになっています。今日の懇談会としてお気づきの点があれば後程でもお知らせさせていただきたいと思っております。

コロナの関係につきましては、4月中過ぎに市民の発症があり6カ月以上過ぎていますが市民の皆さんの感染防止、あるいは新たな生活スタイルということでご協力いただきながら今日に至っていることを改めて感謝申し上げたいと思っております。しかしながらコロナによる影響というものは大変大きなものがございまして、観光を中心に飲食を含め経営状態が低下の状態であります。この後いかに次年度につなげていくかの支援策を講じていく予定になってはいますが、いずれにいたしましてもコロナに向っていくということには市民の皆様の多くの力添え、協力、一致団結した気運が必要と思っております。今後もご協力をいただきましてよろしくをお願いをしたいと思います。

幸いこの地区の主であります農業は大きな天候不順もなく、おしなべて順調な中で推移し収量も平年作を超える作物もあり、そこそこの収量と伺っています。そうしたことはコロナで大変な中で明るい材料のひとつと思っておりますし、この地域の中でも農作物で大きな収入につながっている方も大勢おられると思っております。是非そうした力を次年度に向けて頑張っていたいただければありがたいと思っております。その後の情報提供で新庁舎の建設に向けての説明をさせていただきます。限られた時間ではありますが皆さんの忌憚のないご意見を頂きますようお願いを申し上げて開催にあたっての挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

【懇談会の意見と回答】

行財政運営（総合計画）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○総合計画のパブコメ期間が短い。東山は農業地域で繁忙期の時期にパブコメの締め切りだと仲間も忙しく話し合って意見を出すことができない。時期を考えてパブコメをしてほしい。パブコメは意見が少なく意見募集をした	○市民参加条例でパブリックコメントは予告10日間、意見募集20日間と1か月間確保することになっています。総合計画のパブコメの時期はたまたまこの期間にぶつかりましたこととご了承願います。

<p>という言い訳だけのスタイルの行政ではない。</p>	<p>○パブコメは市民参加のルール条例の意見募集で、他に市民の意見を聞く機会は今日の地域懇談会や市長室トークなどで多く設けてますので意見を届けていただければ幸いです。</p>
<p>○今回の総合計画の資料はおしゃれに感じるが職員が作ったのか、それとも委託業者が作ったのか。</p>	<p>○今までは職員が作文をつくり進めてきましたが、今回はふらのデザインに委託しスタートから市民の意見を取り上げ、若い職員や市民のみなさんとワークショップを行い、見える化を重視して取り組んできました。</p>
<p>○原案p7のスローガンとメッセージにこんな富良野に住み続けたいとあるが、構想10年間で今の子どもたちが10年たった富良野に戻ってきてほしいという思いが伝わらない。子どもをどう育てるのがない。子どもが主人公になってない。将来、子どもが戻ってきてほしいという表現を期待したい。</p>	<p>○原案の中で子どもたちのことは前面には出してはいないわけですが、検討の中で市の人口が減り富良野から離れた人も帰って来てほしいとあり、仕事をどうするかなど記載しています。教育などについてはこの後の基本計画の中で記載する内容になります。</p> <p>○補足p21に10代から60代の市民の意見を細かく出しています。これらを総合しながら今の計画を出しています。</p>

行財政運営（財政）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○過疎債が選定から外れた時の影響はどのくらいあるのか。新庁舎の建設に影響でないのか。</p>	<p>○国会議員の自民党部会の原案が報道されている状況です。富良野は過去にs45、h11-h25は過疎ではなく、H26に過疎が適用されています。新庁舎は過疎債を使用せず他の起債をする予定ですので関係ありません。過疎でないのはいいことですが、影響では有利な過疎債が使えなく、違う起債を使うこととなりますので、過疎を継続してもらおうよう要望していきたいと考えます。過疎債は有利な借金ですが、国の多様な起債を使い影響がないよう考えていきます。正式な決定ではないですが過疎から外れても恩恵の受けていたものを暫定措置で長く使わせてもらおうよう要望していきたいと考えます。</p> <p>○影響でいうと有利な過疎債が使えなくなり、少し有利でないものを使うこととなりますということです。</p>
<p>○市の総額はいくらでその内過疎債はどのくらいあるのか。財源としての有効性をききたい。</p>	<p>○総額120億円の市の財政で、過疎債は3億円くらいです。補助金の方が有利なので借金より</p>

<p>報道では庁舎や教育にも使っているとあったが学校については影響がないと思っていのか。</p>	<p>補助金を考えています。 ○昨年から道教委、文科省の補助金で学校移設補助事業が 55%の補助金で一番有利。補助金以外を起債にするかそれ以外にするか検討しているところ。過疎の件は来年以降の話で影響ありません。 ○文科省に55%が補助金で残りの45%を借り入れするか、過疎債を利用するか、経過措置が終わったときにそういう起債を探すことになります。</p>
--	---

行財政運営（ICT）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○デジタルの光通信の関係で、富良野は市民の希望をとりながらやっているが、中富や上富は行政が何が何でもやるぞという感じで取り組んでいる印象を受ける。 ○将来的に年配者の見守りなど色々活用できる。後でも申し込みできるのか、できれば全戸加入で色々活用できればいい。</p>	<p>○10月16日現在で光回線の事前加入申込者は518件、回線数では626回線。当初目標400回線は達成しましたが、市内の隅々まで使っただけのように締め切りを10月30日まで延期しました。基本的に富良野市もやりましょうと取り組んでいます。中富良野も上富良野も今回同じように取り組んでいます。 ○NTT東日本が実施。事前申し込みで一段落し整備した後に申し込まれても回線が引けない場合があるため、使う可能性のある方は今回の事前申し込みで出していただければ、そこまでは間違いなく回線を引くことができますとご案内しているところです。</p>
<p>○これから富良野に移住してくれる人の分はダメなのか。新規移住者の分も考えていかないと人口が増えない。今から対応しておくことが大事、5-6年前から光が来ているのかと言われる。</p>	<p>○今回の希望者は全員回線を整備するとなっていますが、なるべく後から申し込んで繋げられない状況にならないよう今回の事前申込みの段階から整備したいと思います。</p>
<p>○光回線の要望は過去の移動市長室でも要望してきたが、以前はできないとあり今回は良い方向にいたのはなぜか。時代の変化なのか事情を聴きたい。</p>	<p>○過去から光要望はお聞きしています。できないではなく色々な方法を考えましようとお答えしていました。今回はNTTが事業をして、市が負担をして進めることになり、市独自で引く方法や、各省庁の色々なお金をどう使うか検討して、令和4年（2023.1.31迄）にADSLがなくなることを考量して市も方法を検討しますと話していました。今回はコロナの関係で学校の休校で自宅勉強となり、文科</p>

	省と総務省が一致してこの機会に一気に進めることになり、市もコロナや要望でやることにしました。
○災害に強いものにしてFMラジオも聞けるよう期待したい。今の状況を教えてほしい。	○FMふらののは、今は清水山のアンテナから発信しています。現在、新富良野プリンスホテルのロープウェイに新送信所を作り、同時にTV中継所に東山送信所を作っています。両方できたら今年度中に東山のほぼ全域をラジオふらのが受信できるようになります。
○FMふらののだけか、民放各社も中継されるのか、エアジー、ノースウェーブも聞けるのか。	○FM波は入るはず。後で確認し支所経由で連絡したい。札幌からエアジーの電波が富良野にどのくらい来ているのかも確認させてほしい。

産業（農業）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○基本構想の自然のWAがあるが、東山は自然のWAだけはあるが熊も鹿も近くにいるので自然の中に入って自然を楽しむにいけない。神社山にも最近熊が多く出るようになった。バランスも大事だと思うが動物による農作物の被害対策はどう考えるのか。	○鳥獣被害が多くご苦労されている状況と思いますが、環境省は野生動物を守るとあり、農林水産省は農産物を守っていこうという状況です。富良野市は農作物を荒らされないよう鹿柵を整備し、動物が出たときは駆除する対策をしていますが、二つの法律の下でバランスよくすることが大事で、平成20年の農作物被害は2.7億円、令和元年度は1.13億円になり、これからも鹿柵に防御と駆除の両方を続けていきたいと思っています。

教育（学校）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○子どもの話で、コロナ禍でも勉強はできるが、体を使う仕事ができなくなってくる。体を動かすことで学べる学校、魅力ある独特の学校、人が集められる学校にしてほしい。	○コロナ禍で学びの遅れが心配されたが、樹海地区では小規模校の良さを活用し遠隔学習に取り組んできました。先日の学校訪問でも樹海小学校ではタブレットを授業だけではなく体育の時間にも取り入れるなど先生方もよりよい使い方を検討中です。市としてもこれら

	<p>取組をモデルとして、各学校での取入れなど協議しているところです。富良野初取り組みなので良い例となっていってほしいと思っています。オンラインだけではなく、体を使う仕事への取組みとして、樹海中学校では学校農園でのカボチャづくりなど、地域・農業を理解する取り組みを行っているところです。それらを継承していただき富良野のモデル校になっていただきたいと思います。樹海中学校の活用については、地域とともに市全体でも考えていきます。</p>
--	--

基盤整備（交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○北海道では富良野市に要望したら道路整備はきちんと考えますよと話していた。学校は一か所になり子供達が自転車登校である道路を通るのは怖い。安全に登校できるよう道路を整備してほしい。</p>	<p>○北海道への要望に関してですが、北海道には道路整備や河川要望なども行っており、公安委員会（道警）には信号機要望もしています。少しずつ進んでいる状況ではありますが、引き続き要望を行って参ります。</p>
<p>○道路環境をきちんとしてほしい。ほかの地域と違い先進的な整備をしてほしい。小学校の下の道路 4103 号線の道路整備が地域要望として以前からあげているが、一部しか改善されていない。西達布から老節布の地域道路としてはあまりにも環境が良くない。東山地区の環境整備は他と違うということを出して整備してほしい。今年は単に休んでいただけと思いたい。</p> <p>○東山は他と違うということで整備していただくことは理解してほしい。行政でやると答えているのできちんとやってほしい。懇談会の意味は要望をきちんと受け止めてくれることだと思う。</p>	<p>○道路整備は毎年各地域から要望がありますが、優先順位を地域と協議を行い、基本的には皆さんの地域を平等に整備すると考えています。</p>

住宅（住宅）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
-------	-------------

<p>○テレワークの関係で中学校を従業員が住めるようにしてほしい。地域に人は来てほしいが住宅がなく人を集めるにも住むところがない。若い人も交えうまくやってほしい。</p> <p>○公住を外せば誰でも住めるようになると思う。所得に関係なくできる。耐用年数は。</p>	<p>○公営住宅の件では昨年も話がありましたが、公住は公営住宅法に基づいた入居条件や建設にも制約があり、なかなか進まないところがありますが、例えば、誰でも入居できる住宅の確保ということであれば、方法として、空き家の活用ということも考えられる。東山公住は補修して募集してもなかなか埋まらないという状況がある中で、公住を空き家として、水洗化等の補修をしたら、新たな人が住めるような手法も考えられると思います。</p> <p>○公住を建てる時は国補助金を使っています。公住には整備基準もあり、公住としての使用が条件になります。耐用年数を超えれば目的外使用の手法はありますが、基本的には目的外使用はできません。東山公住の耐用年数は過ぎていますが、リノベーションするにしても公住としてなのか、いったん普通財産にしてからやるのかで違ってきます。国の補助金でやるのは難しいと思われます。</p>
<p>○何らかのリニューアルを検討してみるとあったが、今回の話を進めていただきたい。</p>	<p>○公住としてのリノベーションを検討しているわけではなく、目的の終えた公住を活用する、そのような手法があるということです。これからの検討になります。</p>
<p>○東山に住みたい農業後継者が住む場所がない。公住空いても水洗トイレでないので汲み取り公住しかない。街は水洗トイレの住宅がある。何とかしてほしいと以前からずっと話している。それを分かってほしい。市長がトップに動いてほしい。富良野は希望の多くネームがあり、それを生かすチャンスだと思う。30年後には人口が8千人減るとあったが、魅力をもってもらいUターンのきっかけになるようなものを柱にしてほしい。人口が減るのは仕方ないというのであれば、そんな富良野に期待はできない。消滅都市になる。北海道のどの市長も考えていないが富良野の市長は是非とも考えてほしい。生活していく上での平等を考えてほしい。富良野に移り住んだ人からお誘いを受けるようなまちづくりを進めてほしい。</p>	

新庁舎

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○想定を超える空知川の洪水で2階は今現在の床は標高何メートルにあるか。富良野小学校の洪水表示より床は高いのか。道路はどうするのか。防災計画に一次避難者の避難スペースに市民が危険なので行けないことになる。避難所要素がない。60億もかけていかなものか。</p> <p>○空知川底の海拔と、新庁舎の海拔の比較は何メートルか。後でいいから確認してほしい。</p>	<p>○50センチ盛上げは1階床になり、1階から4.5mのところは2階の床になります。新しい2019年ハザードマップでは庁舎付近の水位は50cmから3.5mに変わり、新庁舎の1階床は水がつかない計画としております。最悪想定外の浸水でも2階まで4.5mあるので2階以上で業務の継続が可能と考えております。小学校にある表示は古い50cmのままだと思います。ハザードマップは昨年1000年に1度の大雨に変更になり、それまでは100年に1度の大雨が想定されていました。現庁舎は今でも周辺より高い位置になりますが、街側が低いので土盛りしても今と大きくは変わりません。大雨災害時は周辺道路も水没しますが、浸水前に避難できる時間はあるものと考えております。また、周囲の住宅地は道路と同じ高さなので、道路を上げると周辺住宅が水没することになり、基本的には道路をあげることはできないと考えています。</p> <p>○避難所としては、50cmいかない100年に一度の洪水では新庁舎で十分機能し、超えても中に入らないように防潮板で対応できます。地震や災害の際には一次避難となりますので長期間の時は体育館等への移動になります。充分一次避難機能は果たせます。</p> <p>○空知川の河床の高さは確認していませんが、浸水時の水位の標高を確認しています。1000年に一度のハザードマップでは市街地の想定浸水深は0.5-3.5mと表示されておりますが、これは、大雨が降って堤防が破堤をして市街の中に流れ込む時の平均値を示したものです。庁舎付近の浸水時の水位は、開発局でシミュレーションした標高を目標に計画を行っており、庁舎の1階標高が171.7m、2階は4.5mプラスになります。堤防の高さより2階の床の高さは高くなっているので堤防から溢れても新庁舎の2階は水がつかない設計になっています。</p>
<p>○庁舎と災害イメージだと河川が氾濫しても庁舎が水につかった、周辺の家も道路も水につかった。みんな市役所に逃げてくる。ケガした人のイメージはあるのか聞きたい。ヘリコプターの救助イメージは。ボート避難なのか。</p>	<p>○周辺に水が来た時、基本的には一次避難なので、水が引いたときに体育館に移動することになります。怪我人は消防でボート救助も行いますし、アウトドア関係者とも協定し、人命優先で対応したいと思います。2階にいればとりあえず安全ですが水が引かない場合もボートで運び、具合の悪い人は2階にいてもらいます。</p>

	<p>最近は垂直避難で自宅の 2 階や高い所に逃げるのが推奨されており、ここの周辺で高い建物は市役所しかないので 2 階を用意しているご理解願います。</p>
<p>○新庁舎建設について、ひと月ではあるが、着工を遅らせたのは、この間のコロナの件や市民意見等を聞いて、市長があらためて考えた時間だった、とっていいのだろうか。</p>	<p>○着手が遅れたのは、4 月にコロナが市内で発症しコロナ感染防止、経済対策の時期が差し迫っており、当初 6 月から障害物を取り除く準備工事の件で 5 月には工事を進める決断を迫られる時期でした。何か月延ばせるのか、次年度にできるのか、との検討をして 11 月着工と決断したのは、8 月でした。その間国や道と一緒にコロナ禍でどう工事を進めるか協議を行い、結果、今年度着工しない場合のリスクが国からも示され、リスク回避のための最大の延伸時期を 11 月としました。市民の意見は様々聞いていますが、検討中に意見を聞いたかという聞いておりません。</p>
<p>○新庁舎は前に建て、後ろが駐車場がいい。今まで頑張ってきた銅像などは大事にしてほしい。構想原案にはいろいろ文がある。計画の中に文字が並べられているいろんな人の思いが感じられる。これらも物も大事にしてほしい。</p>	<p>○庁舎前には、開拓の記念碑、開拓の祖、初代市長の胸像等がありました。高松氏の胸像は図書館に移動し、記念碑と中村千幹像は文化会館と S L の間に移設しました。あわせて S L の柵も綺麗にして大事にしています。</p>

【市長 閉会のあいさつ】

長時間にわたりこちらの情報共有ということで説明をさせて頂き、熱心にお付き合い頂き、さらにまた関係して貴重なご意見も頂きました。総合計画におきましては可能な限り実現できるように市民の意向は伝わるように、さらにもっと言えば市民の方々にこの総合計画に参加を頂けるような形で進めていきたいと思っておりますので、今日は地域懇談会ということで終わりますが、この後に皆さんのご意見を聴きますというものを庁舎内に設けておりますので、是非ご了承いただければ幸いです。また庁舎の関係につきましてはいろいろなご意見もいただきました。建てる段階であらゆる危険性を配慮し、対処しながら建てていきたいと思っております。しかしながら、中身を創っていくというのはこれからの作業ということになります。中身というものは庁舎をどういうふうを活用するのか、庁舎の中でどんな取り組みをするのか、あるいはそこへどうやって市民が参加できるのか、という形を作るのはこれからだと思います。この後の庁舎を育てて頂ける市民の皆さんが主体としてこの庁舎があるんだとご理解頂きご参加を頂ければありがたいと思っております。

季節はどんどん冬に入っていきます。コロナ対策ということでこの後予想されるインフルエンザの予防接種等の補助もつけさせていただきます。また暮れに向けての経済対策ということでプレ

ミアム商品券、あるいはクーポン券ということで対応させて頂いていますが、1年が無事に締めくくられるように、また明年が今のようにコロナで閉塞感漂っている状態ではなく、閉塞感が晴れて明るい新年を迎えられるよう努めてまいりますので皆さん方のご健勝での生活を心からご祈念させていただきながら、本日もご協力いただきましたことへのお礼を申し上げまして閉会のご挨拶にさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
40-49 歳	男性	人口減で手が回らないので市で市道雑木処理を定期的にしてほしい。人口減はチャンスではなくピンチです。
40-49 歳	男性	コロナの発症人数を定期的に公報で教えてほしい。
50-59 歳	男性	冬道の不凍結剤（塩カル）は氷解けには安全だが車が錆び危険です。道ばかりでなく市でも考えていただきたい。
50-59 歳	男性	町の人もへき地の人も共通の思いで暮らせる行政であってほしい。
60-69 歳	男性	新聞報道にあった過疎対象外の影響を市長から聞いたのがよかった。光回線やFMふらのの難聴対策も行政努力がわかりよかった。最後に東山の生活インフラ、教育を要望し道路と排水トラフ側溝整備を望みます。